



2026年2月25日

株式会社アドバンスト・メディア

## 【議事録作成における生成 AI の活用に関する調査】

**議事録作成、68.9%が若手社員より生成 AI を高く評価**  
**将来の主役は生成 AI と 71.2%が回答。音声認識ツールは 99.6%が「便利」**  
～音声認識と生成 AI の連携による効率化が進む一方、正確性やセキュリティ確保が課題に～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、全国の議事録作成の効率化に関心が高い社会人を対象に、「議事録作成における生成 AI の活用に関する調査」を実施しましたのでご報告いたします。

### 【調査背景】

AI の精度向上に伴い、議事録作成は「人が全て担う」業務ではなく、AI が議事録の草案を生成し、人が最終的な確認・補正を行うものへ移行しつつあります。音声認識と生成 AI の連携により議事録作成の効率化や省力化への期待が高まる一方、正確性やセキュリティに対する不安も依然として残っています。こうした状況を踏まえ、本調査は、現在の AI への信頼度、将来の捉え方、そして生成 AI 活用に対する意向や課題意識を明らかにすることを目的として実施しました。

### 【調査結果サマリ】

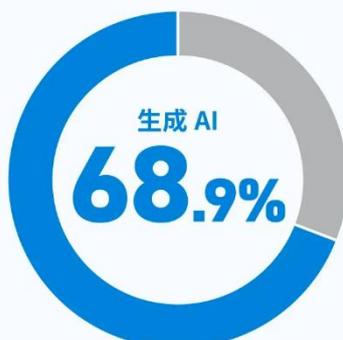
- ・ 生成 AI と若手社員が作成した議事録への精度比較では、68.9%が「生成 AI の方が高い」と回答
- ・ 生成 AI と人間が作成した議事録の信頼度比較では、66.0%が「人間の方が高い」と回答
- ・ 議事録作成の未来像については、71.2%が「生成 AI が主役になる」と回答
- ・ 音声認識ツールによる文字起こしは、99.6%が「便利」と回答
- ・ 議事録作成において生成 AI を、「積極的に活用したい」が 66.0%で最多
- ・ 生成 AI 活用の不安では「正確性・信頼性」が 59.2%、「セキュリティ・情報漏えい」が 50.2%

### 【調査概要】

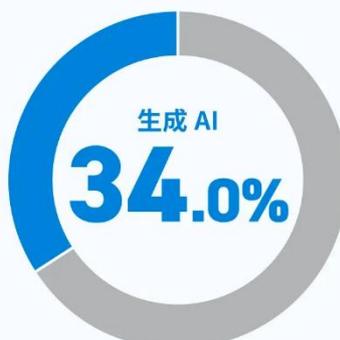
- 若手社員との精度比較では生成 AI が高評価。一方、若手社員に限定しない場合の信頼度では人に軍配。未来の議事録作成の主役は生成 AI へ移行。

## Q. 生成AI/人間が作成した議事録に対する評価比較

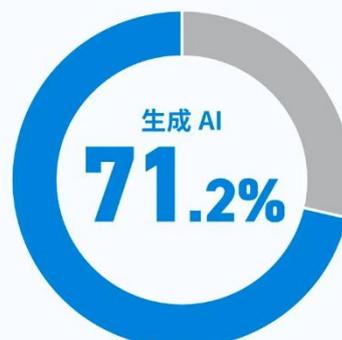
精度が高いのは？  
生成AI vs 若手社員



現時点で信頼できるのは？  
生成AI vs 人間



将来の主役は？  
生成AI vs 人間



「若手社員と生成 AI を活用した議事録作成は、どちらが精度が高いと思いますか？」という設問に対して、68.9%が「生成 AI を活用した議事録作成」と回答し、若手社員との比較では生成 AI を高く評価する声が多く見られました。一方で「生成 AI が作った議事録と人間が作った議事録のどちらが信用できますか？」という設問に対しては、66.0%が「人間」と回答しており、現在の議事録作成においては、経験に基づく人間の判断がより信頼されていることが示されました。

さらに、「未来の議事録作成は生成 AI が主役になると思いますか？それとも人間が最後の砦でありつづけると思いますか？」という設問では、71.2%が「生成 AI が主役になる」と回答し、将来的に議事録作成業務は生成 AI 中心へ移行すると考える人が多数を占めました。

#### 回答理由（自由回答のうち代表的なコメントを一部抜粋）

**若手社員との比較で「生成 AI」と回答：**「人間では、会議のスピードについていけず抜け漏れが多いが、AI なら議題の抜け漏れは少なく、最終チェックで精度が大きく向上する」

**若手社員との比較で「若手社員」と回答：**「会議内での発言以外の背景なども分かっており、発言の行間を読むことができる。生成 AI は専門用語を辞書登録しておかなければ誤訳してしまう」

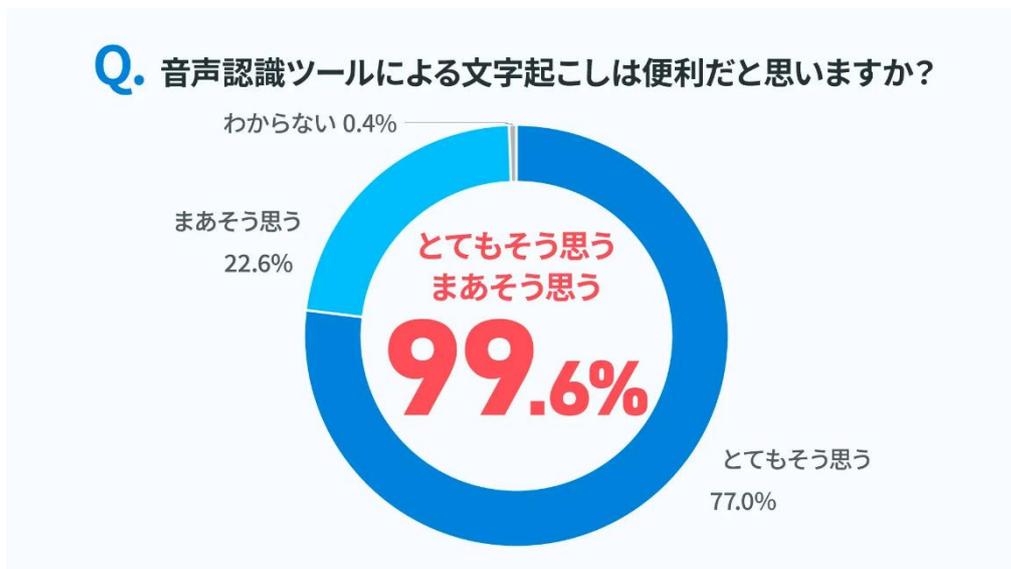
**生成 AI と人間との比較で「生成 AI」と回答：**「要点が捉えやすくなる（要点を抽出してくれる）。抜け漏れ・誤記載などが少ない（チェックする時間が創出できる）」

**生成 AI と人間との比較で「人間」と回答：**「AI は網羅的にまとめるが、重要度の濃淡がつかない。最終的には人の目で確認しないと信用できない」

**未来の議事録作成の主役について「生成 AI」と回答：**「人手不足が深刻になり、AI に頼らざるを得なくなると思っている」

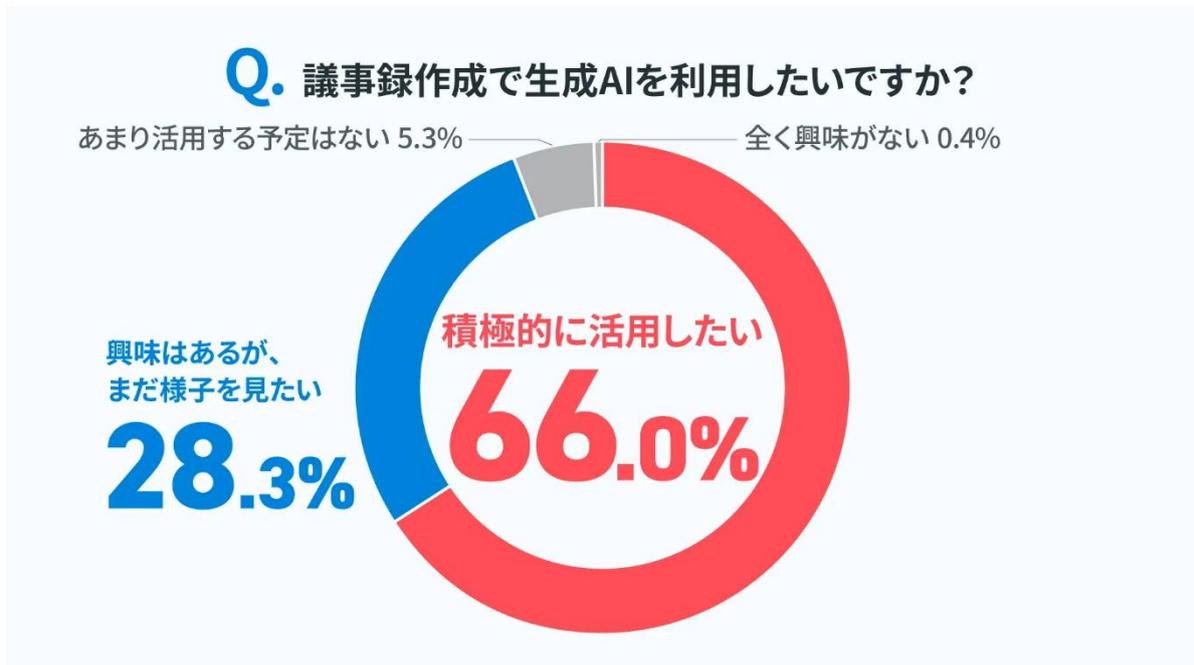
**未来の議事録作成の主役について「人間」と回答：**「最終的に人の手が加わることは避けて通れないと思われるが、生成 AI の精度が高くなれば人的負担は大幅に軽減できる」

#### ■ 音声認識ツールによる文字起こしは 99.6%が「便利」と回答



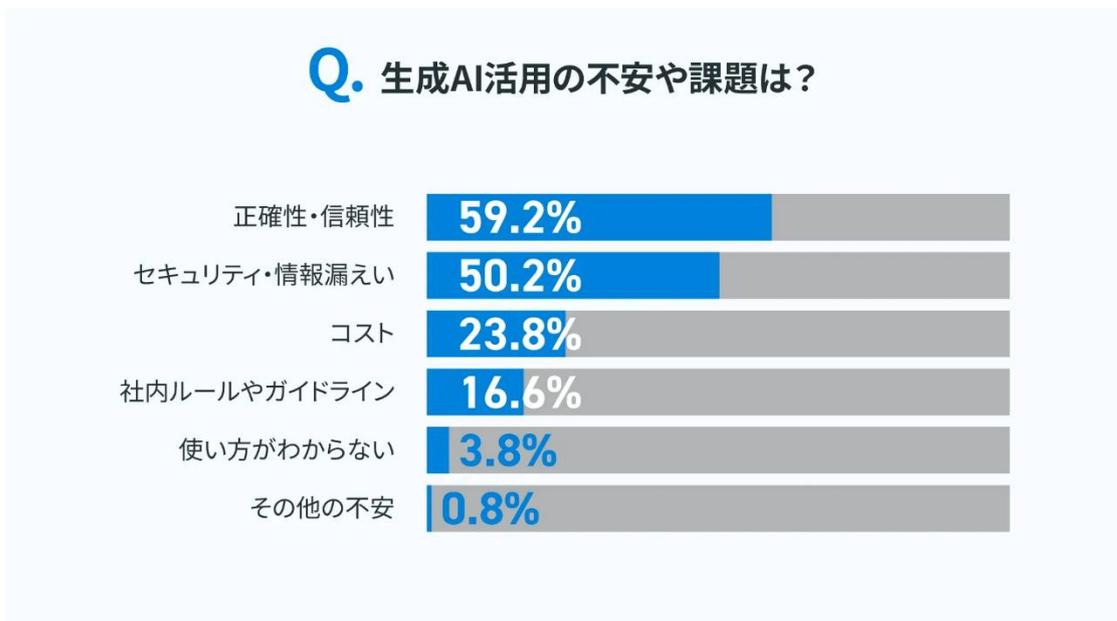
「音声認識ツールによる文字起こしは便利だと思いますか？」という設問に対して、「とてもそう思う（77.0%）」と「まあそう思う（22.6%）」と、合計 99.6%が音声認識ツールを「便利」と回答しました。「わからない」と回答した人はわずか 0.4%にとどまり、音声認識による文字起こしが広く受け入れられていることがうかがえます。

## ■ 議事録作成で生成 AI を「積極的に活用したい」が 66.0%で最多



「議事録作成で生成 AI を活用したいですか？」という設問に対して、「積極的に活用したい (66.0%)」が最も多く、半数以上が議事録作成における生成 AI の活用に前向きであることが分かりました。一方、「興味はあるが、まだ様子を見たい (28.3%)」という慎重派も一定数存在します。また「あまり活用する予定はない (5.3%)」「全く興味がない (0.4%)」と回答した人は少数にとどまり、多くの回答者が何らかの形で生成 AI の活用を視野に入れていることが明らかとなりました。

## ■ 生成 AI 活用における不安・課題として最も多いのは「正確性・信頼性」



「生成 AI を活用する上で不安や課題に感じることは何ですか？」という設問に対しては、「正確性・信頼性 (59.2%)」を挙げる回答が最も多く、生成 AI が出力する内容の正しさや信用に対する懸念が依然として大きいことが明らかになりました。次いで多かったのは「セキュリティ・情報漏えい (50.2%)」で、機密情報の取り扱いに対する不安を持つ回答者が多いことが分かります。

活用意向は高いものの、利用者が安心して使える環境（セキュリティ対策など）が不十分であり、これらが今後の普及の鍵となることが明らかになりました。

### 【アドバンスト・メディアの見解】

本調査における、若手社員との比較では生成 AI の方が高く評価されているものの、若手社員に限定しない人間との比較では人間の方が信頼されるという結果から、現状の議事録作成業務では、生成 AI の活躍が期待される一方で、経験を踏まえた人間の判断、例えば、発言の裏にある意図や場の雰囲気、非言語的な要素をくみ取る力、内容の正しさを多角的に見極める力といった部分が、引き続き重視されていることを示しています。

さらに、未来の議事録作成については、生成 AI が中心的な役割を担うようになると多くの回答者が予測しており、業務プロセスが「人中心」から「生成 AI 中心」へと移行していく方向性が浮き彫りになりました。

また、音声認識の利便性に対する評価の高さから、AI 技術が議事録作成の効率化に一定の効果を発揮していることが示されています。議事録作成における生成 AI 活用には大きな期待が寄せられる一方、「正確性・信頼性」や「セキュリティ」に対する懸念の払拭がさらなる普及のために超えるべき課題であることが分かりました。

これらの結果から、議事録作成の未来は「AI が中心的な役割を担いながらも、人が最終的な確認や判断を行う」という形で、AI と人の協働がさらに進んでいくと当社では考えています。

アドバンスト・メディアでは、こうした状況を踏まえ、精度向上やセキュリティ強化などを通して、利用者が安心して AI を活用できる環境整備を進めるとともに、国内シェア No.1<sup>※</sup> AI 音声認識 AmiVoice と生成 AI を活用したソリューションの提供を積極的に進めてまいります。

### 【調査概要】

調査期間：2026年1月21日（水）～2026年2月5日（木）

調査対象：議事録作成の効率化に関心がある全国の社会人

調査方法：インターネット調査

回答者数：265名

調査詳細：下記の URL より調査結果の詳細をご覧ください

<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/column/genai-minutes-survey/>

### ■ウェビナー開催について

若手社員より信頼 が多数派？

生成AIによる議事録作成

— 調査で見えた本音とコツ

2026 **3.12** 木 オンラインセミナー (Zoom) 11:00-12:00

参加  
無料

Zoom  
開催

本調査結果をもとに、議事録作成における生成 AI 活用の実態を共有するウェビナーを 3 月 12 日（木）に開催します。ディスカッション形式で議事録作成の現在地とこれからの姿を多角的に探るほか、実務で役立つ「議事録作成で生成 AI を効果的に活用するポイント」も分かりやすくお伝えします。

- タイトル** 「若手社員よりも信頼」が多数派？  
生成 AI による議事録作成—調査で見た本音とコツ
- 開催日時** 2026 年 3 月 12 日（木） 11:00～12:00
- 内容**
- ・生成 AI を活用した議事録作成に関する最新調査結果
  - ・調査結果から分かった課題や期待
  - ・生成 AI の効果を最大化するツールや活用のコツ
- 参加費** 無料（事前登録制）
- 詳細** お申込み方法など詳細は、下記の URL よりご確認ください。  
<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/webinar/20260312/>

※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

## ■アドバンスト・メディアについて

- 代表者**： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
- 本社**： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F
- URL**： <https://www.advanced-media.co.jp/>
- 設立**： 1997 年 12 月
- 資本金**： 69 億 3031 万円（18,392,724 株）（2025 年 12 月末現在）
- 事業内容**：
- ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
  - ◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
  - ◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

<https://www.advanced-media.co.jp/>

### 【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ TEL：03-5958-1307	VoXT（ボクスト）事業部 ・ お問い合わせ： <a href="https://voxt-one.advanced-media.co.jp/inquiry/">https://voxt-one.advanced-media.co.jp/inquiry/</a>